本県における地域日本語教室の立ち上げに向けたプロセス（イメージ）

1年目

2～3年目

4年目

事業立ち上げ会議

①事業立ち上げ会議
市町村へのヒアリング
（現状課題の把握・方向性の確認）

現状把握・ニーズ調査・地域の関係機関との連携強化

②管内の企業や外国籍住民等を対象としたニーズ調査

既存教室の視察

③既存教室の視察

ワークショップ（モデル教室のコンセプトづくり）

④市町村の課題意識を明確にする
・教室コンセプトを作成する
（ワークショップ）

日本語教育，指導者教育プログラムの作成

⑤教室をデザインする
（運営体制，開催日，カリキュラム等）

教室運営準備（会場決定，講師選定，会則決定）

⑥運営体制を整備する（協議会など運営組織の設置，講師・スタッフ等の検討）

ボランティア育成講座の実施

⑦日本語教室に関わる人材の発掘・育成（日本語ボランティア養成講座開催）

地域日本語教室の試行的運営

試行結果の検証・改善
（自走への準備⇓市町村予算確保検討等）

地域日本語教室の自走